

特定外来生物「オオハンゴンソウ」駆除作業の実施について

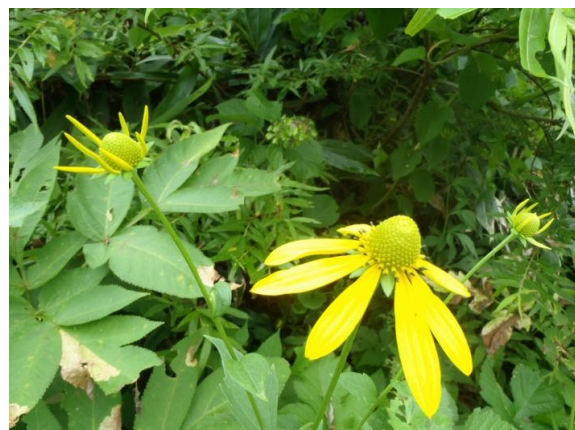
秋の気配を感じ始めた平成25年8月28日(水)、中越森林管理署では十日町市内小松原国有林において「平成25年度特定外来生物オオハンゴンソウ駆除作業」を実施しました。

当日は、当署職員のほか南魚沼振興局、十日町市中里支所、清津山の会、ふるさとの清津川を守る会、(社)前橋林業土木協会新潟県支部の皆さん総勢40名が参加し、小松原林道沿いに繁茂したオオハンゴンソウを駆除しました。

この事業は、新潟県自然環境保護地域に指定されている小松原湿原付近の小松原林道沿線においてオオハンゴンソウが確認されたため、その貴重な自然資源を守るために平成22年度から継続実施している事業です。



駆除前の写真 林道脇に繁茂しています



黄色い花を咲かせています

開会式を終えて、いざ駆除作業に取りかかります。



約1時間後、2トントラック1.5台分集まりました。皆様、お疲れさまでした。

駆除作業中
とても真剣です「小さいのがたくさん・・・」



こんなところにまで！の声



種の散布を防止するため、
花は花だけで集めました

駆除作業終了後、小松原湿原の良さを多くの人に知ってもらうため、希望者を募り散策をしました。案内して下さったのは、「清津山の会」会員の皆様です。



美しいブナの林を通ります



曇っていましたが、写真よりも明るく感じました



湿原を彩るさまざまな植物



小松原湿原の一部です

避難小屋で記念撮影
皆様、お疲れさまでした！



参加者からは、「毎年駆除しているのになかなか減らない」「範囲は一部拡大しているが、駆除区域の繁茂は確実に抑えられつつある」等の感想が聞かれました。小松原湿原の保全のため、この事業を継続させることが大事であると改めて実感した1日となりました。この事業が少しでもオオハンゴンソウの蔓延防止に繋がることを祈りつつ、今年度の作業を終了しました。

参加して下さった皆様、ありがとうございました。